

近藤 正美 議員

公共スポーツ施設の

安全管理態勢は

問 管理者が常駐しない無料の公共スポーツ施設の安全管理や環境保全是どうなっているか。

答 公民館等の近隣施設にAEDを配備し、緊急時に利用できるよう利用団体への周知やスポーツ団体への熱中症の注意喚起など安全管理に努めている。また、年数回の雑草除去や通年のトイレ清掃など、安全利用の維持管理に努めている。

幼小中一貫教育の課題は

問 「小一プロブレム」や「中一ギャップ」といわれる問題をどう軽減するか。

答 幼小中12年間を見通した、明確な目的を持った共通の一貫カリキュラムをつくることと、小中が一つの学校として一体感を持って教育活動を行うことで解消したい。



メロープラザ

支所周辺公共施設の

集積をどう生かすか

問 将来の地域構想として、地域の特性である歴史文化ゾーンをどう生かすか。

答 浅羽支所周辺地域は市の歴史を学び、偉人の功績を顕彰する施設に加えて、多くの文化活動が行われるメロープラザがあり、市の文化・教養の拠点である。学ぶ機会の提供と文化を高める取り組み等、活発な交流で地域づくりを進めていきたい。

伊藤 謙一 議員

市内における屋外広告物の

管理方針は

問 昨年、違反看板の通報を受けた44枚の看板のうち、11枚は所有者及び管理者が確定できていない。景観保護・安全上の問題から、袋井市屋外広告物条例の市長権限で行政代執行による撤去を考えているか。

答 条例内では、所有者及び管理者のいない屋外広告物は、市長権限で撤去が可能である。

しかし、撤去費用は市民からの税金であるので、まずは所有者及び管理者が確定できない屋外広告物については、看板が設置されている土地や建物の所有者が賃貸契約等を結んでいることが多いことから、そこから所有者及び管理者を定めていきたい。

その後、違反広告物の処置は、所定の手続の中で進めていきたい。

市民映画の今後は

問 「マジックタウン」の今後の事業展開をどう考えているか。

答 本作は心豊かな人づくりを教育理念に掲げる本市にとり、子どもの成長と大人がそれを支える姿を捉えた優れた作品である。今後は、地域文化の振興を目的とし注目度の高い「さめき映画祭」や、ドキュメンタリー映画の登竜門である「山形国際ドキュメンタリー映画祭」等へ出展していきたい。



市民映画「MagicTown」の撮影風景